



白帆祭文化の部が終わりました。3年生の演劇は、各クラスの創意工夫と団結を感じることのできる素晴らしいものでした。次は白帆祭体育の部ですが、そこで完全燃焼してお祭りを閉じましょう。

3年生は進路に向けての取り組みがよいよ本格化、具体化してきました。昨日、センター試験志願票の校内提出が締切られ、今日は第1回校内推薦会議があり、44名の推薦希望者について審議します。AO入試には47名が出願しており、その一部は終了し、すでに合格を手にした人もいます。

とはいえ、西高生の大半は一般受験に向けて奮闘している最中だと思います。いくら頑張っても模試の成績が上がらず、落ち込む時もあると思いますが、今が踏ん張りどころです!!

## 先輩方から キャンパス レポート (1)

この春に千葉西高校を卒業し、大学へ進学した32期生の先輩方から、後輩である皆さんへのメッセージを寄稿して頂きました。オープンキャンパスに参加しただけでは分からない、大学生活の真の姿や、皆さんへの応援の言葉が満載です。1年前には、今の3年生と同じように、悩んだり苦しんだりした先輩方の生の声です。ぜひ、参考とし、励みとしてもらいたいと思います。

### 『 國學院大學について 』

佐藤 雅記

國學院大学 文学部 史学科

千葉西高校の在学生の皆さん、こんにちは。私は今年の3月千葉西を卒業し、現在渋谷にある國學院大学の文学部史学科というところで学んでいます。國學院は神道文化学部という神道に特化した学部があり、神職(神主)の資格を取ることができる、日本でも珍しい大学です。私が学んでいる文学部史学科では日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観(ブラタモリを想像してください)の4つのコースがあり、自分が行きたいコースを選んで学ぶことができます。また、歴史だけでなく法学・経済系の授業も履修することができて、歴史以外のことも学ぶことができるので、毎日楽しく大学に通っています。國學院の図書館の蔵書量は人文系大学としては日本でも有数で、調べものしようと図書館に行ったとき、常に目当ての本を探して読むことができるのでとても便利です。サークル活動としては、自分は高校時代に放送技術部として活動していたこともあり、放送研究会で活動しております。先輩も優しく、同期も多いのでとても楽しいです。その他にも様々なサークルがあるので、國學院に入学した際は、ぜひサークルの見学をしてみてください。

受験生の皆さん、いま受験勉強でとても忙しいことと思います。でも、今頑張れば明るい未来が必ず待っています。苦手だと思っていることから逃げ続けてもそれは皆さんの為には決してなりません。しっかりと自分を信じてやり続けることこそが大事なのです。またしっかりと目標や夢を忘れないでほしいです。私は日本古代史の研究をしたいという思いから國學院の史学科へ進学しました。夢や目標を持ち続けることは勉強をするうえで大きなモチベーションとなります。最後の最後まであきらめず、第一志望合格を勝ち取ってください!!

### 『 法大について 』

畔田 敦志

法政大学 経営学部 経営学科

みなさんこんにちは。私はいま千代田区にある法政大学市ヶ谷キャンパスに通っています。総武線で千葉駅から1時間ほどなので通いやすいです。私の所属する経営学部には3つの学科がありますが他学科の講義も受けられるようなので、もし経営学部に興味がある方がいたら、あまり学科には拘らず試験の日程を考慮して選んでみるとよいかもしれません。学習する内容は専門科目だけではなく、歴史、文学、数学、語学

など幅広く学びます。ちなみに私は第二外国語でドイツ語を学んでいますが、まあまあ面白いです。校舎は富士見ゲート、55・58年館、80年館（図書館）、富士見坂校舎、外濠校舎、ポアソナード・タワーがあるのですが、特にタワーの27階からの眺めはおすすめです。

大学といえばサークルですが種類から活動頻度までほんとうにいろいろです。スポーツ系でいえばいわゆるガチ勢なチームもあれば趣味レベルでやっているチームもあります。私は公認の野球サークルに所属し、週1でゆるーくやっています。サークルに入ると他学部の友人ができたり、先輩に履修の相談をしたり、試験の過去問がもらえたりといいことがたくさんあるので、自分に合ったサークルがあれば入ってみるといいと思います。

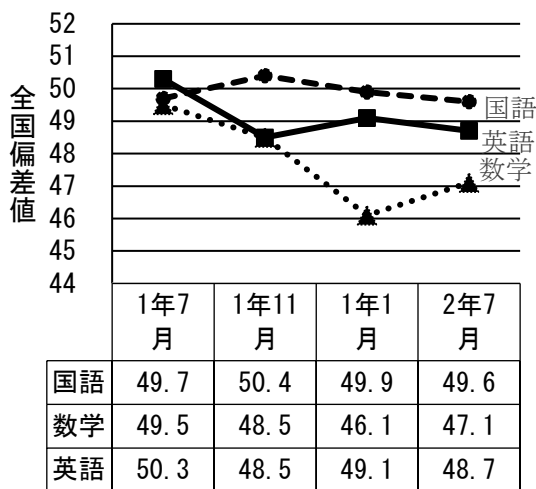
みなさんはいま受験や成績が不安な時期かと思いますが、とりあえずのゴールは大学4年間でどう成長できるのかだと思うので、そこに至るまでの通過点である受験は後悔が残らないようにやりきれば、第1志望・第2志望というのは関係ないので頑張ってください。

## ①【2年生:7月記述模試の結果から・・・谷間の学年なんて言わせるな!!】

2年生は昨年の1年7月模試で過去数年間では最も厳しい結果からのスタートを切り、谷間の学年などとも言われてきました。それ以降の落ち込みが他学年より比較的少ないのが救いですが、今回の模試では、国語をはじめ下位層が増加しているのが心配です。全体としては今春卒業した32期生(2年生の2年先輩)とほぼ並びますが、彼らも2年生のこの時点では大いに心配された学年でした。しかし32期生は、学年全体で受験に対して互いに刺激し合い、励まし合う雰囲気を作り出す事に成功し、全国的に厳しい入試状況の中でも健闘を見せました。2年生諸君も先輩に倣い「谷間の学年」などという評判をはねのけてください。

2年7月模試は、志望校判定される初めての模試でしたが、おそらくほとんどの2年生にとっては、思わしくない結果だったと思います。昨年108名が現役合格した日本大学でも、今回の模試でA・B判定が出た生徒はわずか4名。GMARCHでは合計1名でした。しかし今回の判定結果は気にする必要はありません。今回の模試は、漠然と憧れていたものを具体的な志望校という目標に変えるきっかけにする事が大きな目標です。返却結果から自分の苦手分野を確認し、これから重点的に取り組んで下さい。

2年生 平均点偏差値の推移



2年7月模試 過去3年間との比較

